

議会のあり方ゼミナール

第2ステージ

【2日目】

今日は選挙公約と マニフェストについて

選挙公約を考えることは
施策を考えること

選挙公約を考えることは
施策を考えること



議員活動や選挙において
大切なこと

議員になりたいという人
以外の人にとっても

議員になりたいという人

以外の人にとっても

選挙や議会で

議員さんが何をしているのかを

見る目を養うよい機会です

1. ウォーミングアップ

理想とする神河町の姿を
ひとことで表してみよう

2. 少しだけ講義をします

「公約とマニユフエスト」

公約ってなに？

マニユフエストってなに？

公約とは

選挙候補者が有権者に対し

『 こういうことをやります 』

と約束する内容のこと

たとえば

「高齢者支援を充実させます」

「子どもたちの教育環境を良くします」

といった言葉がそれぞれにあたります。

ただし

公約には
必ずしも具体的な数値や
期限が示されている
わけではありません

つまり

ざっくりとした方向性や
理想を語るものも多く
やや抽象的な内容になりがちです

マニフェストとは
公約を「いつまでに」「どうや
るか」「どこまでやるか」
まで踏み込んで明示した
より実行計画に近いもの

例えば

「高齢者支援を充実させます」

ではなく、

「2年以内に町内すべての地域で、

移動販売車を週1回運行し、

買い物困難な高齢者を支援します」

数値や期限、具体策が
明確になっているのが
マニフェスト

つまり、マニフェストは
「できた／できなかった」
を後から検証できるもの

マニフェストはより具体的に
住民にとって「この人は本気だな」
と感じられる材料になる

なぜ、この違いが大切なのか？

理由はシンプルで

有権者は、
自分の暮らしがどう変わるかを
知りたいから

「いいにと言ってるけど、
実現する見込みはあるの？」

「その約束、あとで
忘れられちゃうんじゃない？」

そうした不安を減らすには、
言葉に責任と具体性を
持たせることが必要

マニフェストは
ただの「宣言」ではありません

地域の未来に向けて、
自分がどう責任を果たすかを
住民と共有する
契約書のようなもの

だからこそ

自分の思いをただ語るだけでなく

具体的に・測れるかたちで示す

努力をしたいですね

その積み重ねが、
地域人の信頼と共感に
つながっていくはずなので…

公約は

「やいほす宣言」

マニフェストは

「やい方・期限付きの実行計画」

効果的な マニユフエストの 作り方

- ①具体的に
- ②実現可能で
- ③住民に説明できる形に

具体的であること

「子育て支援を充実させます」というだけでは、なかなか住民には響きません。

「保育料を3年間で段階的に20%引き下げる」

「中学校までの医療費無償化を目指す」

といった、数字や期限を盛り込んだ表現にすることで、「あ、この人は本気で実現する気があるんだな」と伝わります。

実現可能性の裏付けをもつこと

理想を掲げるのは大切だけど、実際に町の財政や制度の中で実現できるかが問われます。

「予算のどこを見直して捻出するか」「行政や議会との調整はどうするか」など、実行への道筋を少しでも描けているかが大切です。

無理のある話では「選挙用の絵空事」と思われてしまいます。

住民の暮らしとつながっていること
マニフェストを作る上で忘れてはならないのは、
自分がやりたいことよりも、「住民が必要としていること」から出発するということです。
だからこそ、まず地域の声を聞き、自分なりに課題を掘り下げてみてください。
そして、「この政策は、あなたの暮らしのここに効きますよ」と翻訳して伝える力が必要です。

マニフェストは「できること」だけ
を書くのではなく「やる理由」と
「やり方」を住民に届ける道具

有権者に響く メッセージの作り方

私たちが何かを伝えたいとき
どんなに思いが強くても
相手に届かなければ意味ない！

特に選挙の場では
有権者の方に
「この人に託したい」
と思ってもらえるかどうか全て

そのために大事なことを3つ

①短く

②わかりやすく

③心に届く言葉にする

短く、わかりやすく伝える

「短くて、わかりやすい言葉」を使う

「持続可能な地域社会の形成」よりも

「子どもや孫がずっと暮らせる町にしたい」

の方が、ずっと伝わります。

専門用語や抽象的な言葉は避け

日常の言葉で伝えるようにする

「地域課題の解決をめざします」ではなく、
「空き家を活用して、
お年寄りが集まれる場所をつくれます」など、
具体的な風景が浮かぶようにすると
記憶にも残りやすくなります。

共感を大事にする

政策を説明する前に

「なぜ、それをやりたいと思ったのか」という

あなた自身の動機やエピソードを語る

たとえば

「私も子育て中に困った経験がありました。だから、今の若い世代がもっと安心して暮らせる仕組みをつくりたいんです」といった、
自分の言葉が入ると、グッと伝わりやすくなる

人は、正しさよりも「気持ち」に動かされる

「あなたのこと」として語る

伝えるときは「あなたに関係ある話です」
と届ける工夫をする

「子育て支援を充実させます」ではなく、
「あなたの子どもが安心して育つ地域を、私は守
りたいんです」と言い換えてみる

「バスを増やします」よりも、
「お買い物や通院にもっと便利になるよう、バス
を走らせます」というふうに、
聞き手の暮らしに結びつけて語ることが大切

メッセージは
自分が伝えたい ことではなく、
相手が受け取りやすい かたちに訳して
届けることが重要

あなた自身の言葉で
自分の思いと地域の未来を
つなげていく
それが町の未来への第一歩